



アクセルフロアブル



殺虫剤分類

22B

農林水産省登録	第22461号
有効成分	メタフルミゾン 25.0%
その他化管法該当成分	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（1種）1.3%
性状	類白色水性和性粘稠懸濁液体
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	4年
包装	500mL × 20本

特長

✓ 難防除害虫や既存剤抵抗性害虫に有効
難防除害虫の大型チョウ目やキスジノミハムシにも優れた効果を発揮します。

✓ ローテーション防除に活用しやすい
新しい化学構造の殺虫剤なので、既存剤抵抗性害虫にも有効です。そのため、ローテーション防除に組み入れやすい薬剤です。

✓ 害虫からの食害を停止させます
作物への食害を抑制するため、きれいな作物の生産に役立ちます。

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む農薬の総使用回数		
かんきつ	ゴマダラカミキリ	200倍	5～200ℓ	収穫7日前まで	3回以内	主幹から株元に散布	3回以内		
		1000～4000倍	200～700ℓ			散布			
	アゲハ類 ヨモギエダシャク クワノミハムシ ミカンナガタムシ	1000～2000倍							
		ゴマダラカミキリ				12倍		4～8ℓ	無人航空機による散布
	15倍					8～10ℓ			
	アゲハ類 ヨモギエダシャク クワノミハムシ ミカンナガタムシ	24倍	10～16ℓ						
もも類 すもも	ケムシ類	1000倍	200～700ℓ		2回以内	散布	4回以内 （樹幹散布は2回以内、散布は2回以内）		
	クビアカツヤカミキリ	1000倍				樹幹散布			
		100～200倍	5～200ℓ						
キウイフルーツ	ケムシ類	1000倍	200～700ℓ		3回以内	散布	3回以内		
うめ	ケムシ類 クビアカツヤカミキリ								
	ケシキスイ類							1000～2000倍	
とうもろこし 飼料用とうもろこし（子実）	アワノメイガ							1000倍	100～300ℓ
		16倍	1.6～3.2ℓ					無人航空機による散布	
	ツマジロクサヨトウ	1000倍	100～300ℓ						散布
		16倍	3.2ℓ			無人航空機による散布			
	アスパラガス	ハスモンヨトウ	1000～2000倍					100～800ℓ	散布
	ごぼう	ハスモンヨトウ	1000～2000倍			100～300ℓ			
ヒョウタンゾウムシ類		1000倍							
トマト ミニトマト	トマトキバガ	1000～2000倍	100～300ℓ						
	オオタバコガ ハスモンヨトウ								
ピーマン	オオタバコガ								
なす	オオタバコガ								
	ニジュウヤホシテントウ ハスモンヨトウ								
にんじん	ハスモンヨトウ ヒョウタンゾウムシ類							1000倍	
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1000倍						100～300ℓ	
		8倍						1.6ℓ	無人航空機による散布
		10倍			2ℓ				
		16倍			3.2ℓ				
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	1000～2000倍	100～300ℓ						
	ウリハムシモドキ	1000倍							
	コナガ アオムシ キスジノミハムシ								

キャベツ	ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ ウワバ類	1000～2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内	
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ ウワバ類	8倍	1.6ℓ			無人航空機による散布		
		10倍	2ℓ					
		16倍	3.2ℓ					
はくさい	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ キスジノミハムシ ダイコンハムシ	1000倍	100～300ℓ			3.2ℓ		
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ カブラハバチ類	1000～2000倍						
	コナガ アオムシ キスジノミハムシ ダイコンハムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ カブラハバチ類	8倍	1.6ℓ					
		10倍	2ℓ					
		16倍	3.2ℓ					
	レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～2000倍					100～300ℓ
			8倍					1.6ℓ
			10倍					2ℓ
16倍			3.2ℓ					
非結球レタス			1000～2000倍			100～300ℓ		
			8倍		1.6ℓ			
			10倍		2ℓ			
			16倍		3.2ℓ			
カリフラワー	コナガ アオムシ ヨトウムシ	1000倍	100～300ℓ		2回以内	散布	2回以内	
ブロッコリー	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～2000倍						
	コナガ	1000倍						
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ コナガ	8倍 10倍 16倍	1.6ℓ 2ℓ 3.2ℓ					
	コナガ キスジノミハムシ	1000倍	100～300ℓ			3回以内		3回以内
ハスモンヨトウ	2000倍							
だいこん	キスジノミハムシ ダイコンハムシ	1000倍	100～300ℓ			2回以内		散布
	ハイマダラノメイガ ヨトウムシ カブラハバチ類	1000～2000倍						
	キスジノミハムシ ダイコンハムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ カブラハバチ類	8倍 10倍 16倍		0.8ℓ 1.0ℓ 1.6ℓ				
		20倍		2.0ℓ				
		かぶ		コナガ アオムシ キスジノミハムシ	1000倍		収穫3日前まで	

			100～300 ℓ			散布			
えだまめ だいず	ハスモンヨトウ	1000～2000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内		
		8倍	0.8～1.6 ℓ						
		10倍	1.0～2.0 ℓ						
		16倍	1.6～3.2 ℓ						
	フタスジヒメハムシ	1000倍	100～300 ℓ			散布			
		8倍	1.6 ℓ					無人航空機による散布	
		10倍	2.0 ℓ						
		16倍	3.2 ℓ						
しょうが	ハスモンヨトウ アワノメイガ	1000～2000倍	100～300 ℓ		散布				
		16倍	3.2 ℓ			無人航空機による散布			
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ ヨツモンカメノ コハムシ	10～16倍	0.8～1.6 ℓ		散布				
		1000～2000倍	100～300 ℓ			無人航空機による散布			
さといも	ハスモンヨトウ	10倍	1.0～1.6 ℓ		6回以内			6回以内	
		20倍	2.0～3.2 ℓ						
		1000～2000倍	100～300 ℓ						
食用ミニバラ	オオタバコガ	1000倍	100～300 ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内		
きく	オオタバコガ シロイチモジヨ トウ	1000～2000倍							
花き類・観葉植物 (きくを除く)	オオタバコガ	1000倍							
樹木類 (さくらを除く)	ケムシ類	1000～4000倍	200～700 ℓ					成虫発生直前～ 成虫発生期	主幹から株元に 散布
	ケムシ類								
さくら	クビアカツヤカ ミキリ	200倍	5～200 ℓ	—	木屑排出孔を中心 に薬液が滴る まで樹幹注入				
		100倍	—						
		1000～2000倍	25～180 ℓ			収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内
2000倍									

※本内容は2025年4月9日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 植物体への浸透移行による効果は弱いので、かけ残しのないように葉の表裏に十分散布してください。
- 本剤をクビアカツヤカミキリに使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・ 樹幹注入で使用する場合は、被害樹の加害痕である木屑排出孔の木屑を除去した後に排出孔内に薬液が滴るまで注入してください。
 - ・ 散布で使用する場合は、樹幹部および主枝に十分量散布してください。
- うめに全面土壌散布する場合は、過度な降雨等により土壌に薬液が染み込みづらい条件では効果に影響を及ぼすおそれがあるので、使用をさけてください。
- すももに樹幹散布で使用する場合は、散布液が果実にかかると汚れを生じるおそれがあるので、果実にかからないように十分注意してください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - ・ 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
 - ・ 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ・ 散布終了後は次の項目を守ってください。
- 1. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
- 2. 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意事項



- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 樹幹注入の際は手袋などを着用してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも使用当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ・ 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では問題ありません。

保管

密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な所に保管してください。

© ISK BIOSCIENCES K.K.

